

交換留学（派遣）帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後1ヶ月以内に所属部局教務係に提出してください。

***各項目のスペースが足りない場合は、適宜スペースを足して記入してください。**

本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、E-mailは公開されません。

氏名：

学籍番号：

e-mail：

留学先大学：ウィーン経済大学

留学先での所属学部・研究科：international business

留学先での在籍身分：exchange students

留学期間：2018年 9月－2019年 5月

神戸大学での所属学部・研究科： 経営学部

学年（出発時）：大学三回生

本報告書記入日：2019年 5月 28日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日： 10月 1日（講義により違う）

学年終了月日： 6月 30日（講義により試験日が違うため、私の場合は5月の下旬に帰国した）

学期：2 Semester

① 10月 1日～ 1月 31日

② 3月 1日～ 6月 30日

③ 月 日～ 月 日

④ 月 日～ 月 日

1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

ークラス 25 人前後の少人数教育が特徴。教授の講義の最中に、学生同士のディスカッションが始まる。

人気のある分野は、ファイナンス。ただ、他の協定校と違い、交換留学生に対しても、幅広い分野の講義が取れる。（ファイナンス、会計、マーケティング、HR、M&A、プログラミング、法律、交渉術）

留学生が全学生の 30%を占める大学なので、自分以外にたくさんの交換留学生がいる。

1-3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

クラスは 25 人前後の少人数。成績評価は期末テスト 100 点というのは、ほとんど無く、毎授業への貢献度、プレゼンテーション、グループワークなど総合的に判断される。

現地学生は、インターンシップを経験している人が多い。

1-4. 履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 / 週	留学先での単位数	履修している学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	Cross-Cultural-Communications Management: Application to Marketing & Sales	Irena Vida	3	6	25	毎授業、日本を代表して、文化の違いについての、ディスカッションに挑む必要がある。 筆記テスト有り。
2	Embodied Leadership	Vinca Binga	3	6	20	テストはレポートのみ。授業前にヨガが行われる。
3	International human resource management1	Anna Megawati	3	6	30	テストは筆記。 比較的簡単
4	International human resource management2	Amanda Dunkel-Grimus, Christiane Erten	3	6	20	予習をもとに、ディスカッションが行われる。テストはなしで、レポートのみ
5	International M&A	Sascha Hödl, Christian Herbst	3	6	20	情報量が大量なので、予習復習必須だが、やりがいがある。テストはレポート
6	Corporate IT : Information structures	Marjan Khobreh	3	6	25	プログラミング 予習復習しないと全く分からない
7	Responsible Leadership	Christof Miska	3	6	25	毎週グループプレゼンテーション グループワーク。筆記テスト有り
8	ドイツ語中級 B1		1.5	4		予習復習必須
9						
10						

1-5. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：前期はドイツ語の講義が無料で受講可能だったが、後期は150€払わされた。
タンデムに登録すれば、タンデムパートナーを大学側が見つけてくれる。

勉強面でのサポート：日本担当の教務係がいるので、メールすれば、いつでも返事をくれる。
現地学生のバディが一人就く。(留学開始1ヶ月前)

精神面でのサポート：特になし

住居・生活面でのサポート：大学側が、Oead という会社の学生寮を進めてくる。たくさんの留学生が住んでいるというメリットがある分、少し割高。ここを使わなくても、簡単にFacebookなどで、シェアハウスを見つけられる。

課外活動のサポート：特になし

1-6. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。

はい いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

お金があるなら、大学がオススメする Oead をオススメする。（交換留学生が多いため、友達ができやすい。）

また、Gasgasse か、Molkereistrasse という名前の学生寮が主流。私は Gasgasse に住んでいた。

Gasgasse は、唯一キッチンのみ、3 人のルームメイトと共有の部屋がある。（風呂、トイレは各自の部屋にあるため、ストレスは少ない）また、ルームメイトも、意図的に各地域から一人にしている。例えば、前期のルームメイトは、フィンランド、ベルギー、アメリカ人。

Molkereistrasse と比べての欠点は、Molkereistrasse から大学までは 5 分だが、Gasgasse からは 30 分かかる。

Oead 以外なら、月々 6000 円くらい安いシェアハウスを見つけられる。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

日本の学災保険とオーストリアの保険両方。

オーストリアは学生ビザの取得のために、オーストリアの保険にも入る必要がある。

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

WGKK という保険会社。月 50€ ほど。

ビザ取得後は、交渉すればやめることも可能。

3-2. PC（パソコン）について

PC の保有の状況： 日本から持参した 現地で購入した 保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否： 接続できた 接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

寮代に含まれているため、無料。しかし少し遅い。

大学での PC の使用の可否： 使用できた 使用できなかった

大学で PC を使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

使わなかった。

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

病院には一度も通っていない。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

留学中は、つねにお腹の調子が割かった。行く前に、ダニ用の予防接種を打っていった。

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

（現地で口座開設、キャッシュパスポート利用等）

現地で口座を開設し、まとめて 100 万円を親に、Transferwise で送ってもらった。

（送金手数料がその一回で済む）

その後は、そのオーストリアの口座のお金を、デビット、クレジットカードで使っていた。

キャッシュパスポートを作っていたが、一回も使っていない。

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

クリスマス休み、イースター休みなど、家族との時間を大切にしており、みんな実家に帰る。
チップ文化。

大学外の現地のの人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

タンデム会を通じて、オーストリアの学生に会った。

クリスマスを、オーストリアの友達の家で過ごし、田舎に住むお堅いオーストリア人との会に出席した。
また、協会にも行った。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

オンラインで、オーストリアのゲーム会社で少しバイトをしていた。英語の原文を日本語に訳す、翻訳の仕事。

日本語の授業で2ヶ月間TA。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

他のヨーロッパに旅行に行ったが、ウィーンは安全な方。ただ、常に気を付ける必要がある。
外国人への対応は少し冷たい。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

大学院に行くためしていない。

4. 経費について

4-1. 留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

航空運賃：往復 14 万円

住居費（月額×留学月数）：630,000

食費（月額×留学月数）：450,000

保険料：45,000

その他：交際費、旅行 400,000

留学前の書類 50,000

計： 1,600,000 円（留学期間全体の費用）

4-2. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

（財団等名） Jasoo , 80,000 円/月

その他（渡航費等の支給） 0 円

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

去年行った先輩から聞いた情報が一番頼りになった。留学前、留学中、困ったときはすぐに連絡していた。

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

ほんだし、味噌汁など、日本食が恋しくなったとき用のもの。

私は、服類も、親に出発後、国際郵便で送ってもらったため、そこまで、服にお金を使わなかった。

薬

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。

（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：(TOEFL 等試験の名前) 84点→帰国後（ 受けていない ） 点

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

旅行中に飛行機に乗り遅れて、スイスの空港に泊まらないといけな可能性があったとき。

私は運良く、盗まれたりはしなかった。

最後の2ヶ月は、外に出ても食べたいものが見つかれなく、食で苦しんだ。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

適切であった。ただし、帰国後の履修交換について、主発前のミーティングでもう少し詳しく教えてもらいたい。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

大変進める。留学は絶対に進める。特に、自分を含め、日本に住んでる日本人の考え方は、非常に狭いため、海外に目を向けるのは、キャリアだけではなく、自分の中身の成長に繋がる。

留学前の準備として、英語の授業があり、また縦の繋がり持つ良いので、先輩の生の話を聞いて、自分に合ってる留学先を選べる。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に教えてください。

（5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 4
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 5
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 4
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 5
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 2
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 4
- ・留学全体の総合的な評価： 5

5-8. その他 自由に記入してください。

6. 留学経験の共有について

あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書に添付して送ってください。

（デジタル画像でお願いします。）

- 6-1. 神戸大学では所属部局教務係及び国際交流課にて、留学を考えている学生のために報告書を閲覧できるように保管します。あなたは、本報告書を閲覧資料とすることに同意しますか。（あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません。）

*担当部署（所属部局又は国際交流課）が本報告書の原本を保管します。あなたが閲覧資料とすることに同意しない場合であっても、あなたの状況等を把握するために及び本プログラムを改善するために、学内の関係部署に転送することがあります。

はい いいえ

- 6-2. あなたの本報告書の一部を引用して、本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか。

はい いいえ

- 6-3. もし写真を提出する場合、あなたの写真を報告書とともに閲覧資料とすることに同意しますか。

はい いいえ

- 6-4. もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか。

はい いいえ

- 6-5. 国際教育総合センターが実施する「海外留学フェア」にご協力いただけますか。（留学体験を発表するなど）

*ご協力いただける場合、後日、留学生センター教員よりあなたに連絡することがあります。

はい いいえ

ご協力ありがとうございました。本報告書は大変有益な資料となります。

本報告書の提出先は以下のとおりです。原則として e-mail で提出してください。もし、e-mail を使用できない場合は、郵送又はファックスで提出願います。

経営学研究科学部・大学院教務係 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1

bkyomu@b.kobe-u.ac.jp